### 令和3年度

邑南町各会計歳入歳出決算審査意見書

邑南町監査委員

### 目 次

### 各会計歳入歳出決算審査意見

第 1	褔	審査の対象 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
第 2	: 看	審査の期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
第3	冒	審査の方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
第 4		審査の結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	1	決算の概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
		(1) はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
		(2)決算収支の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
	2	普通会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ :
		(1)一般会計の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ :
		(2) 電気通信事業特別会計の概要 ・・・・・・・・・・・
		(3) 普通会計における歳入・歳出・総額について ・・・・・・・
		(4) 財政状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		(5) 普通会計歳入状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		(6) 普通会計歳出状況 ・・・・・・・・・・・・・・ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~
		(7) 財産の管理状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
		(8) 現地踏査 ・・・・・・・・・・・・・・・ 1 :
		(9) 普通会計審査意見 ・・・・・・・・・・・・・ 1 2
	3	公営事業会計(特別会計から電気通信事業特別会計を除く)・・・・ 15
		(1) 国民健康保険事業特別会計 ・・・・・・・・・・ 1:
		(2) 国民健康保険直営診療所事業特別会計 ・・・・・・・・ 16
		(3)後期高齢者医療事業特別会計・・・・・・・・・・ 17
		(4) 下水道事業特別会計 ・・・・・・・・・・・ 1 8
	4	令和3年度財政健全化審査意見書・・・・・・・・・・ 19
	5	令和3年度下水道事業特別会計経営健全化審査意見書・・・・・・ 2
	6	令和3年度水道事業会計経営健全化審査意見書・・・・・・・・ 22
	7	基金運用状況審査意見書・・・・・・・・・・・・・・・ 2:
	8	決算審査のまとめ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 4
付	表	₹
		令和3年度収入未済額調書・・・・・・・・・・・・・・・ 2 6
		令和3年度地方債の状況、令和3年度債務負担行為額の状況・・・・ 27
		令和3年度基金積立金の状況・・・・・・・・・・・・・・ 28

### 各会計歳入歳出決算審査意見

### 第1 審査の対象

1 各会計歳入歳出決算書並びに関係諸帳簿、証書類

令和3年度邑南町一般会計

令和3年度邑南町国民健康保険事業特別会計

令和3年度邑南町国民健康保険直営診療所事業特別会計

令和3年度邑南町後期高齢者医療事業特別会計

令和3年度邑南町下水道事業特別会計

令和3年度邑南町電気通信事業特別会計

### 2 附属書類

令和3年度邑南町各会計歳入歳出決算事項別明細書

令和3年度邑南町各会計実質収支に関する調書

令和3年度邑南町財産に関する調書

### 第2 審査の期間

令和4年7月26日から令和4年8月19日まで(18日間)

### 第3 審査の方法

この決算審査にあたり、町長より審査に付された決算報告書に基づき計数を確認するとともに、その会計処理が適正確実に行われたかどうかを検証するため会計帳票及び関係証書類との照合等審査を実施した。

### 第4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書及び附属書類の計数は、関係諸帳簿、証書類等 を点検審査した結果、いずれも決算計数に相違なく、適正に執行されたものと認めた。また、 審査の結果の詳細は以下のとおりである。

なお、審査の調査資料の内一部の表において千円未満の端数処理に伴い集計額と誤差がある。

### 1 決算の概況

### (1) はじめに

令和3年度予算は「誰ひとり取り残さない、人とつながり支え合う町づくり」をテーマに掲げ、重点に地域活動への町民の参画拡大、官民協働の定住支援など5つの項目を置いて編成された。そして、町民のひとりひとりがつながりを持ったまちづくりを目指す施策が展開されたが、一方で引き続いた新型コロナウイルス感染症の拡大で様々な制約を受けた年であった。

### (2)決算収支の状況

令和3年度の一般会計、特別会計を合わせた決算規模は下記のとおりであり、令和2年度と 比較すると歳入において4.5%、歳出において4.8%の減少となっている。

### 令和3年度会計別決算収支の状況

(単位:千円)

	項目	歳入歳出	決	算 第	<u>(平位・11)</u> 額
Image: Control of the	分	予 算	歳  入	歳 出	歳入歳出差引
普	一般 会計	14, 389, 630	13, 549, 175	13, 304, 893	244, 282
通会	電気通信会計	396, 545	359, 954	341, 493	18, 461
計	小 計	14, 786, 175	13, 909, 129	13, 646, 386	262, 743
公	国 保 会 計	1, 317, 692	1, 325, 794	1, 307, 493	18, 301
営	診療所会計	94, 786	95, 289	91, 660	3, 629
事業	後期高齢者会計	385, 786	386, 720	384, 566	2, 154
会	下水道会計	985, 668	942, 992	930, 780	12, 212
計	小計	2, 783, 932	2, 750, 795	2, 714, 499	36, 296
令	和 3 年 度 計	17, 570, 107	16, 659, 924	16, 360, 885	299, 039
令	和 2 年 度	17, 874, 863	17, 452, 821	17, 177, 978	274, 843
令	和 元 年 度	15, 883, 040	15, 740, 317	15, 467, 187	273, 130
平	成 30 年 度	15, 531, 124	15, 093, 920	14, 829, 808	264, 112
平	成 29 年 度	15, 224, 798	15, 070, 236	14, 740, 544	329, 692
平	成 28 年 度	16, 037, 399	15, 927, 294	15, 450, 407	476, 887
平	成 27 年 度	18, 673, 875	18, 477, 897	18, 071, 813	406, 084
平	成 26 年 度	20, 262, 985	18, 885, 664	17, 888, 217	997, 447
平	成 25 年 度	18, 787, 582	17, 236, 074	16, 676, 104	559, 969
平	成 24 年 度	16, 816, 756	16, 258, 593	15, 925, 767	332, 826
平	成 23 年 度	16, 956, 064	16, 917, 445	16, 724, 750	192, 695
平	成 22 年 度	18, 214, 127	17, 886, 501	17, 613, 407	273, 094

(平成28年度までは、簡易水道事業特別会計を含む)

	平成17 年 度	令和3年度	差 額
地方債	35, 250 百万円	18,348 百万円	16,902 百万円(減)
積 立 金	2,458 百万円	5,451 百万円	2,993 百万円(増)

### 2 普通会計

### (1) 一般会計の概要

### ア 決算の概要

(単位:千円.%)

年 度	亚己00年底	人和一欠库	人和《左库	(平区 人和 0 左库	対前年
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減率
歳 入 総 額	11, 638, 408	12, 374, 713	14, 174, 938	13, 549, 175	△ 4.4
歳 出 総 額	11, 427, 825	12, 156, 404	13, 953, 528	13, 304, 893	△ 4.6
歳入歳出差引額	210, 583	218, 309	221, 410	244, 282	10.3
翌年度へ繰り越すべき財源	14, 677	16, 888	27, 686	48, 034	73.5
実 質 収 支 額	195, 906	201, 421	193, 724	196, 248	1.3
他会計繰出額	1, 372, 128	1, 381, 953	1, 409, 583	1, 324, 819	△ 6.0
起 債 残 高	12, 734, 913	12, 696, 636	13, 032, 586	13, 295, 012	2.0
基金保有額	5, 029, 907	5, 200, 471	5, 167, 317	5, 506, 096	6.6

(基金保有額は定額基金含む)

### イ 審査結果

令和3年度の一般会計の歳入総額は、4.4%減の135億4,917万5千円、歳出総額は4.6%減の133億489万3千円ととともに減少した。要因は、国庫補助金を財源とした新型コロナウイルス感染症対応事業費が大きく影響している。

### (2) 電気通信事業特別会計の概要

### ア 決算の概要

(単位: 千円. %)

_					(手匹	. 1 1 1 . /0/
区分	年 度	平成30年度	   令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年
区分		一个成30年度	7 和几十度	7 和 2 平度	7 和 3 平度	増減率
歳 入	総額	476, 339	463, 753	542, 828	359, 954	△ 33.7
歳 出	総額	464, 035	443, 638	529, 961	341, 493	△ 35.6
歳 入 歳 出	差引額	12, 304	20, 115	12, 867	18, 461	43.5
翌年度へ繰り越	すべき財源	0	0	0	2, 300	皆増
実 質 収	支 額	12, 304	20, 115	12, 867	16, 161	25.6
一般会計	繰入額	164, 113	161, 559	143, 979	57, 693	△ 59.9
起債	残 高	449, 980	267, 171	221, 929	171, 981	△ 22.5
基金保	有 額	100, 247	85, 415	84, 403	97, 686	15. 7

### イ 審査結果・意見

令和3年度は歳入総額、歳出総額とも減少した。これはFTTHシステム更新費や起債償還金の減額が大きい。加入者数は、5,019件で22件増加しており、サービス利用者数はケーブルテレビは4,196件、インターネットは2,288件となっており、インターネットは増加、テレビは減少の傾向が続いている。また、加入者の中で未利用者が635件と増加している。利用者のニーズは様々で、一層高度になっていくので、財政支出の平準化に配慮し、機器整備等適切に対応されたい。

### (3) 普通会計における歳入・歳出・総額について

次のページ以降の各表において、表下に「(資料:地方財政状況調査)」と注記があるものは、地方財政状況調査の作成要領に基づくため、一般会計と電気通信事業特別会計の決算額が次のとおり重複しないよう純計してある。

令和3年度地方財政状況調査は、一般会計決算額(歳入135億4,917万5千円、歳出133億489万3千円)に電気通信事業特別会計決算額(歳入3億5,995万4千円、歳出3億4,149万3千円)を加え、一般会計の繰出金、電気通信事業特別会計の繰入金5,769万3千円と、一般会計から支出している基本チャンネル利用料やIP電話利用料、219万円を歳入、歳出からそれぞれ相殺した額となっている。

### (4) 財政状況

### ア 普通会計の決算状況

(単位·千円 %)

				(単位	· 1 🗇 · 70 /
年 度 区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年 増減率
歳入総額	11, 947, 091	12, 674, 207	14, 571, 578	13, 849, 247	△ 5.0
歳 出 総 額	11, 724, 205	12, 435, 783	14, 337, 301	13, 586, 503	△ 5.2
歳入歳出差引額	222, 886	238, 424	234, 277	262, 744	12. 2
翌年度へ繰り越すべき財源	14, 677	16, 888	27, 686	50, 334	81.8
実 質 収 支 額	208, 209	221, 536	206, 591	212, 410	2.8
単年度収支額	△ 10, 358	13, 327	△ 14, 945	5, 819	138. 9
積立金(財調分)	122, 497	154	122, 109	107, 075	△ 12.3
繰 上 償 還 金	0	0	155, 036	110, 239	△ 28.9
基 金 取 崩 し 額 ( 財 調 分 )	124, 740	215, 201	0	0	-
実質単年度収支額	△ 12,601	△ 201,720	262, 200	223, 133	△ 14.9

(資料:地方財政状況調查)

### イ 財政指標等の状況

(単位:千円.%. P「ポイント」)

年 度	亚出90年南	<b>人和二年</b>		△和 2 年 <del></del>	対前年
区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	増減率
標準財政規模	7, 004, 287	6, 867, 970	6, 923, 107	7, 177, 810	3. 7
地方債現在高	13, 184, 893	12, 963, 807	13, 254, 515	13, 466, 993	1.6
債務負担行為額	33, 235	25, 325	21, 735	18, 146	△ 16. 5
(公債費に準ずるもの)	33, 233	20, 320	21,735	10,140	△ 10.5
積 立 金 現 在 高	4, 808, 692	4, 939, 423	4, 934, 257	5, 273, 360	6. 9
財 政 力 指 数	0.170	0.170	0.170	0.170	0.000P
経常収支比率	96. 3	96. 6	93.3	90.3	△ 3.0P
実質公債費比率	14. 5	14. 9	15.0	14.1	△ 0.9P

(資料:地方財政状況調查)

### ウ 審査結果

歳入総額、歳出総額とも新型コロナウイルス感染症対応事業費が影響し、決算額が減少した。指標等において、標準財政規模が増加し、経常収支比率が3.0ポイント、実質公債費比率が0.9ポイント改善しているが、地方債現在高は繰上償還や新規の発行を抑えたものの、ごみ処理施設等の大型事業に係る起債が増加し、発行額が償還額を上回り増加している。

### (5) 普通会計歳入状況(自主・依存財源別)

### ア概要

(単位:千円.%)

	年 度	平成30年	度	令和元年	度	令和2年	度	令和3年	度	対前年
区	: 分		構成比		構成比		構成比		構成比	増減率
	自主財源	2, 513, 849	21. 0	3, 065, 053	24. 2	2, 719, 075	18. 7	2, 724, 875	19.8	0.2
	町 税	1, 028, 313	8. 6	1,020,891	8.0	1, 004, 429	6. 9	970, 269	7. 0	△ 3.4
	分担金及び負担金	109, 359	0.9	108, 801	0.9	112, 952	0.8	118, 467	0.9	4. 9
	使用料及び手数料	446, 816	3. 7	424, 840	3. 4	407,612	2.8	410, 023	3. 0	0.6
	繰入金	307, 799	2.6	544, 945	4. 3	554, 872	3.8	549, 665	4.0	△ 0.9
	繰越金	270, 769	2. 3	222, 886	1.8	238, 424	1.6	234, 277	1. 7	△ 1.7
	諸収入・その他	350, 793	2. 9	742,690	5.8	400, 786	2.8	442, 174	3. 2	10.3
	依存財源	9, 433, 242	79.0	9, 609, 154	75.8	11, 852, 503	81.3	11, 124, 372	80.2	△ 6.1
	地方譲与税	153, 118	1. 3	168, 104	1.3	184, 579	1.3	187, 049	1.3	1.3
	地方交付税	5, 979, 322	50.0	5, 878, 562	46. 4	5, 922, 658	40.6	6, 253, 388	45. 1	5.6
	国庫支出金	857, 163	7. 2	834, 497	6.6	2, 454, 578	16.8	1, 528, 805	11.0	△ 37.7
	県支出金	916, 487	7. 7	1, 024, 942	8. 1	1, 035, 221	7. 1	1, 068, 014	7. 7	3.2
	地方債	1, 280, 852	10. 7	1, 477, 538	11.6	1, 996, 378	13. 7	1, 766, 303	12.8	△ 11.5
	その他	246, 300	2. 1	225, 511	1.8	259, 089	1.8	320, 813	2.3	23.8
	歳入合計	11, 947, 091	100. 0	12, 674, 207	100.0	14, 571, 578	100. 0	13, 849, 247	100. 0	△ 5.0

(資料:地方財政状況調査)

### イ 審査結果

普通会計の歳入決算額は、138億4,924万7千円となり前年度比5.0%、7億2,233万1千円減少し、自主財源の構成比は19.8%となった。

減少の主なものは、新型コロナウイルス感染症対応補助金等の国庫支出金が9億2,577万3千円、防災行政無線更新事業の終了により発行が減った地方債が2億3,007万5千円と大きい。

一方、増加は地域デジタル社会推進費の新設等が算入された地方交付税が3億3,07 3万円となっており地方交付税に依存するところが大きい。

### (6) 普通会計歳出状況

### (ア) 性質別経費

### ア概要

(単位:千円.%)

								(+14	<u>.   円</u>	. 70)
l → 1/	度	平成30年	度	令和元年	度	令和2年	度	令和3年	度	対前年
区分			構成比		構成比		構成比		構成比	増減率
人件	費	1, 613, 095	13.8	1, 600, 510	12. 9	1, 726, 336	12.0	1, 773, 393	13. 1	2. 7
物件	費	1, 417, 508	12. 1	1, 413, 713	11. 4	1, 457, 638	10.2	1, 401, 312	10.3	△ 3.9
維持補修	費	198, 476	1. 7	146, 559	1.2	241, 039	1.7	196, 209	1.5	△ 18.6
扶 助	費	1, 263, 686	10.8	1, 286, 386	10.4	1, 297, 154	9.0	1, 605, 510	11.8	23.8
補助費	等	2, 516, 369	21.5	2, 540, 431	20.4	4, 285, 672	29.9	3, 325, 121	24. 5	△ 22.4
公 債	費	1, 945, 185	16.6	1, 770, 183	14. 2	1, 765, 925	12.3	1, 605, 821	11.8	△ 9.1
積 立	金	249, 746	2. 1	673, 871	5.4	495, 646	3.5	887, 020	6. 5	79.0
投資及び出	資金	172	0.0	0	0.0	0	0.0	5,000	0.0	皆増
貸付	金	2,000	0.0	2,000	0.0	0	0.0	0	0.0	-
繰出	金	1, 329, 915	11. 3	1, 356, 825	10.9	1, 360, 215	9. 5	1, 308, 954	9.6	△ 3.8
投資的経	費	1, 188, 053	10.1	1, 645, 305	13. 2	1, 707, 676	11.9	1, 478, 163	10.9	△ 13.4
普通建設事	事業費	970, 529	8. 3	1, 397, 596	11. 2	1, 554, 771	10.8	1, 237, 853	9. 1	△ 20.4
災害復日	旧費	217, 524	1.8	247, 709	2.0	152, 905	1.1	240, 310	1.8	57. 2
歳出合割	<del></del>	11, 724, 205	100.0	12, 435, 783	100.0	14, 337, 301	100.0	13, 586, 503	100.0	△ 5.2

(資料:地方財政状況調査)

### イ 審査結果

普通会計の歳出決算額は135億8,650万3千円となり前年度比5.2%、7億5,079万8千円減少した。

性質別歳出の比較では、減少の大きなものは補助費等が新型コロナウイルス感染症に係る特別定額給付金の皆減等で9億6,055万1千円となっている。

一方、増加は扶助費が3億835万6千円、積立金が3億9,137万4千円などが大きい。

扶助費は、新型コロナウイルス感染症に係る住民税非課税世帯等や子育て世帯への臨時 特別給付金、暖房費助成事業など、積立金は前年度の決算剰余金などを減債基金へ積立て たことなどである。

### (イ) 目的別経費

### ア概要

(単位:千円.%)

	年	度	平成30年	度	令和元年	度	令和2年	度	令和3年	度	対前年
区分	<del>分</del>			決算額 構成比		決算額 構成比		決算額 構成比		決算額 構成比	増減率
議	会	費	97, 317	0.8	96, 989	0.8	91, 097	0.7	86, 860	0.6	△ 4.7
総	務	費	1, 720, 189	14. 7	2, 353, 667	18.9	3, 425, 291	23. 9	2, 508, 764	18. 5	△ 26.8
民	生	費	2, 598, 837	22. 2	2, 553, 783	20.5	2, 527, 400	17. 6	2, 788, 358	20.5	10.3
衛	生	費	1, 300, 292	11. 1	1, 519, 282	12. 2	2, 078, 170	14. 5	2, 332, 996	17. 2	12.3
労	働	費	3, 412	0.0	3, 396	0.0	3, 638	0.0	3, 618	0.0	△ 0.5
農林	水産	業費	1, 290, 822	11.0	1, 277, 565	10.3	1, 363, 595	9. 5	1, 486, 513	10.9	9.0
商	エ	費	252, 348	2. 1	240, 473	1.9	532, 179	3. 7	286, 895	2. 1	△ 46.1
土	木	費	701, 044	6.0	606, 879	4. 9	762, 328	5. 3	722, 661	5. 3	△ 5.2
消	防	費	446, 436	3.8	453, 915	3. 7	434, 695	3.0	428, 837	3. 2	△ 1.3
教	育	費	1, 150, 799	9.8	1, 311, 942	10.6	1, 200, 078	8. 4	1, 094, 870	8. 1	△ 8.8
災等	害復	日費	217, 524	1. 9	247, 709	2.0	152, 905	1. 1	240, 310	1.8	57. 2
公	債	費	1, 945, 185	16. 6	1, 770, 183	14. 2	1, 765, 925	12. 3	1, 605, 821	11.8	△ 9.1
歳	出合	計	11, 724, 205	100.0	12, 435, 783	100.0	14, 337, 301	100.0	13, 586, 503	100.0	△ 5.2

(資料:地方財政状況調査)

### イ 審査結果

目的別歳出の比較では、総務費で9億1,652万7千円減少している。これは、新型 コロナウイルス感染症に係る特別定額給付金の皆減である。

さらに、商工費は邑南町商品券発行事業や非接触型町民 I Cカード導入事業などの新型コロナウイルス感染症対応事業費などで2億4,528万4千円減少した。

増加の大きなものは、民生費の2億6,095万8千円で、子育て世帯への生活支援特別給付金や臨時特別給付金などである。

### (7) 財産の管理状況

公有財産においては、固定資産台帳の整備が進められ、台帳との比較調整も完了している。 令和3年度における主な増減は以下のとおりである。

### ア 令和3年度中に取得、減少した主な財産

### 行政財産(土地)

① 鉄道公園用地、鉄道公園駐車場用地取得

1,678.00㎡增

② 用途廃止に伴う減少ほか

1, 423.60㎡減

③ 令和3年末現在高

 $9, 271, 556. 48 \text{ m}^2$ 

### 普通財産(土地)

① 旧田所体育館用地用途変更ほか

1, 457. 03㎡增

② 用途廃止に伴う減少

160. 43㎡減

③ 令和3年度末現在高

2, 176, 360. 70 m<sup>2</sup>

### 行政財産(建物)

① 増となる建物

なし

② 用途廃止に伴う減少

1, 166. 10㎡減

③ 令和3年度末現在高

151, 407. 39 m<sup>2</sup>

### 普通財産(建物)

① 旧田所体育館ほか

1, 166. 10㎡増

② 用途変更・解体に伴う減少

1,009.10㎡減

③ 令和3年度末現在高

5, 115. 08 m<sup>2</sup>

### イ 地上権

令和3年度末現在高は 16,948,100.00㎡で、年度中の増減はない。

### ウ温泉権

令和3年度末現在高は5.50㎡で、年度中の増減はない。

### 工 有価証券

令和3年度末現在高は52万円で、年度中の増減はない。 株式証券及び預かり通知書は適切に管理されている。

### 才 出資金、出捐金

出資金は、合同会社アグリサポートおーなんの出資金4,401万8千円ほか7件で、年度中に1件500万円増加し、総額1億2,126万円となっている。

出捐金は、公益財団法人邑智郡広域振興財団出捐金3億1,500万円ほか7件で、年度中の増減はなく、総額3億5,589万円となっている。

いずれも証券、証書類は適切に管理されている。

### 力債権

① **奨学基金貸与金**(奨学基金・医療福祉従事者確保奨学基金・農林業後継者育成奨学基金) 前年度末現在高は、2億3,532万1千円で、令和3年度中に3,390万円を貸し 付け、967万2千円の償還を受けた。また、基金条例施行規則第12条に該当する償 還の免除が1,332万円発生しており、令和3年度末現在高は、2億4,622万9 千円となっている。

### ② 住宅新築資金等貸付金

前年度末現在高は669万1千円で、3年度中に38万8千円の返済があり、令和3年度末現在高は630万3千円となっている。

### ③ 地区別戦略資金貸付金

前年度末残高は500万円で、令和3年度中に50万円の償還を受け、令和3年度 末現在高は450万円となっている。

### ④ フィンランド共和国交流派遣貸付基金

前年度末現在高は18万1千円で、令和3年度中に9万8千円の償還があり、令和3年度末現在高は8万3千円となっている。

### (8) 現地踏査

実施日 令和4年8月4日 令和3年度執行事業の中で「道の駅瑞穂整備事業」について現地踏査した。

### ア 道の駅瑞穂整備事業

①全体計画

令和2年度~6年度 総事業費概算 29億6千万円 建築工事:令和5、6年度想定

- ②令和3年度事業
  - ○年度内事業(決算額:60,694千円)
    - 開設準備、開設支援業務等
    - ·基本設計(約1,900m²)
    - ·造成設計(約13,600m²) 等
  - ○4年度へ繰越分事業(予算額:426,574千円)
    - 地盤調査
    - 熱応答試験
    - 測量設計委託
    - 用地取得
    - 移転補償 等

### イ 審査意見

「道の駅瑞穂」の建設予定地を現地踏査した。町民の様々な意見を聴きながら大きな効果をもたらす施設として進めてほしい。

### (9) 普通会計審査意見

### ア 財政運営について

- ① 令和3年度は、経常収支比率が3.0ポイント、地方債現在高比率が3.9ポイント 積立金現在高比率が2.2ポイント等各指標はともに改善している。これは標準財政 規模が普通交付税の追加交付金により増加したことが大きく令和3年度のみの一時的 な特徴と考えられる。
  - 今後さらに大型公共事業が計画されていることや人口の減少などで、交付税の増加が 見込めないことを考え、財政の硬直化が進まないようにされたい。
- ② 令和3年度の町民税など6町税の合わせた徴収率は前年度96.06%から97.6 2%と上がったが、多額な不納欠損処分を行ったことが大きい。また、前年度から新たに徴収に努めたいわゆる「家屋敷税」は95万9千円の徴収があった。町税について引き続き徴収に努力されたい。
- ③ 未収金は、前年度と比較して1,851万5千円(29.2%)減少した。これは不納 欠損処分によるものが大きいため、今後もきめ細かな対応を望む。

### イ 財務事務について

- ① 予算の流用は、節間、節内をあわせ、1,507件で1億5,393万1千円となっている。できるだけ少なくされたい。予備費の充用は53件2,793万9千円となっている。ほとんどが災害や故障による緊急な修繕、また新型コロナウイルス感染症対策など緊急に対応が必要なものに充用されておりやむを得ないが、一部に予め予算計上しておくべきものが見受けられるので考えられたい。
- ② 不用額については、2億5,337万1千円となっている。とくに事業の執行を怠ったと思われるものはないが、総事業数の10.4%の事業において、70%以下の執行率となっている。最終の補正予算はできる限り見込み額を把握して予算に反映してほしい。
- ③ 資金不足のための一時借入利息の支払が64万1千円あるが、自己所有の基金からの繰り替え運用をすることによって、一時借入利息の節約が65万5千円生じたことは好ましいことである。

### ウ 財産管理について

財産管理については、固定資産台帳の整備が進められ、土地、建物、構築物等の有形固定 資産のデータは統一的基準に基づきシステム管理されている。

公有財産の土地については、鉄道公園用地、鉄道公園駐車場用地等の取得により、1,551.00㎡増加した。一方建物については、旧田所体育館用途廃止等により1,009.10㎡減少した。

債権については、奨学基金貸与により、992万2千円増加した。 定額運用基金については、医療福祉従事者確保奨学基金2,628万円と、農林業後継 者育成奨学基金における2年度の積立不足120万円を3年度に積立したことで1,41 6万円増加した(定額運用基金については決算年度末現在の比較としている)

その他、物品の公用車については、前年度末の150台より3台減少し、3年度末は147台となっている。

引き続き「邑南町公共施設等総合管理計画」等に基づく公共施設等財産の適正な配置・ 整備のマネジメントの確立が求められる。

### エ 事業の繰越について

令和3年度においては、繰越明許費が38事業8億4,141万9千円で、対前年度比4億7,046万3千円(126.8%)増加した。被災箇所が多く災害復旧事業の査定が遅れたことや新型コロナウイルス感染症の影響で事業の進捗が遅れたこと及び工事資材の調達に時間を要するものが多くやむを得ない。

### オ 人事管理について

- ① すでに導入されている人事評価制度の効率的な実行や積極的な研修参加等で、引き続き 職員のスキルアップ、効率的な業務運営を進めてもらいたい。
- ② ここ近年、業務の内容も多様、複雑化しており、緊急性のある業務も多い。新たに課の 再編や室が設置されるなど改組されたが、引き続き業務執行に支障のないよう弾力的な 人員配置、職員教育を計画的に進められたい。また、職員の不祥事を防止するためにも 担当の複数制など職員の孤立防止も必要である。そして、内部統制制度の導入に向けて 研修を重ね早急に対応されたい。
- ③ 職員等による公用車での対物事故が、令和3年度中に5件発生している。引き続き不注意による事故が皆無となるよう努められたい。

### (職員数の推移)

(単位:人)

年度区分	H22. 4. 1	H23. 4. 1	H24. 4. 1	H25. 4. 1	H26. 4. 1	H27. 4. 1	H28. 4. 1	H29. 4. 1	Н30. 4. 1	Н31. 4. 1	R2. 4. 1	R3. 4. 1	R4. 4. 1
事務部局職員	198	202	206	206	203	204	204	206	216	218	216	216	214
派遣職員	51	39	27	21	15	13	10	10	0	0	0	1	2
職員計	249	241	233	227	218	217	214	216	216	218	216	217	216
内 新規採用	6	6	0	11	5	6	7	7	16	21	7	8	14

\*企業会計職員を含む

### (人件費比率)

(単位:千円、%)

年度区分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人件費	1, 463, 103	1, 438, 161	1, 610, 340	1, 591, 334	1, 661, 618	1, 692, 858	1, 668, 666	1, 802, 212	1, 837, 484
歳出総額	12, 929, 621	14, 192, 519	14, 304, 469	11, 790, 924	11, 731, 658	11, 724, 205	12, 435, 783	14, 337, 301	13, 586, 503
人件費比率	11.3	10. 1	11. 3	13. 5	14. 2	14. 4	13. 4	12.6	13.5

\*H27年度以降事業費支弁人件費含む

### カ 危機管理について

危機管理に関する町内の現状は、12の消防分団に団員515名が在籍し、消防車両31台を保有している。防火水槽286基、町が指定する指定緊急避難場所は87か所(内、指定避難所は61か所)となっている。防災士は95名が登録され、38の自治会で結成されている自主防災組織では、防災訓練や話し合いなどが実施され、地域防災力の向上につながる取組がなされている。消防団員の減少、防災士の増員が課題である。

また、避難者用の非常食、保存水、マット及び毛布などが備蓄されるとともに、新たに避難所用間仕切りやパーテーションの備蓄がなされている。今後、新たに感染症対策の必要性も生じ、継続的に大規模災害時の長期的な避難所生活を考慮した資機材の備蓄が求められる。

### 3 公営事業会計

### (1) 国民健康保険事業特別会計

### ア 決算の概要

(単位:千円.%)

					7 . 1 1 1 . 707
年 度区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年 増減率
歳 入 総 額	1, 439, 811	1, 504, 988	1, 291, 259	1, 325, 794	2. 7
歳 出 総 額	1, 415, 257	1, 486, 828	1, 274, 947	1, 307, 493	2.6
歳入歳出差引額	24, 554	18, 160	16, 312	18, 301	12. 2
前年度繰越金	39, 242	24, 554	18, 160	16, 312	△ 10.2
単年度収支額	△ 14,688	△ 6,394	△ 1,848	1, 989	207. 6
一般会計繰入額	156, 633	159, 752	144, 131	149, 183	3. 5
不納欠損額	712	218	289	372	28. 7
収入未済額	23, 336	25, 517	25, 324	25, 978	2.6
基金保有額	77, 973	76, 704	100, 955	110, 454	9.4

### イ 審査結果

- ① 令和3年度の歳入歳出差引額は、1,830万1千円の黒字となっており、前年度からの繰越金を引いても、単年度収支は黒字となっている。
- ② 保険税の収入未済額が2,597万8千円あり、対前年度比3.5%増加した。
- ③ 保険税の税率は一部変更があった。収納額は8.0%減少した。
- ④ 令和3年度末の被保険者数は2,359人で、前年度より87人減少した。

### ウ 審査意見

保険給付費は、前年度に比較して5.4%増加している。引き続き医療費の動向把握に努められたい。

保険税の未収金は増加して、依然として1割を超えており多額になっている。これの解消に向けては、個々の事情に応じた賦課・徴収の対応に努力されたい。

また、保健事業費が増加して、適切に健診が行われている。このことは医療費の適正化に大きくつながるので、被保険者の特性に応じたきめ細かい事業を展開するよう、引き続き努められたい。

### (2) 国民健康保険直営診療所事業特別会計

### ア 決算の概要

(単位:千円.%)

				( ) 12	<u> </u>
年 度区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年 増減率
歳 入 総 額	250, 677	114, 539	103, 451	95, 289	△ 7.9
歳 出 総 額	249, 870	113, 145	98, 182	91,660	△ 6.6
歳入歳出差引額	807	1, 394	5, 269	3, 629	△ 31.1
翌年度へ繰り越すべき財源	344	0	0	0	_
実 質 収 支 額	463	1, 394	5, 269	3, 629	△ 31.1
前年度繰越金	820	463	1, 394	5, 269	278. 0
単年度収支額	△ 357	931	3, 875	△ 1,640	△ 142.3
一般会計繰入額	33, 720	49, 298	44, 763	32, 837	△ 26.6
起債残高	178, 100	199, 400	199, 400	199, 156	△ 0.1

### イ 審査結果

- ① 実質収支は黒字となったが、前年度繰越金があるため単年度収支は赤字となった。
- ② 診療収入は4,205万円となり、前年度比8.5%の増収となっている。

### ウ 審査意見

町内の公的診療所は4施設となっている。引き続き町民のニーズに応じた身近な医療を 担ってほしい。

### (3) 後期高齢者医療事業特別会計

### ア 決算の概要

(単位:千円.%)

年 度 区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年 増減率
歳入総額	372, 527	366, 864	394, 057	386, 720	△ 1.9
歳 出 総 額	370, 374	364, 623	391, 204	384, 566	△ 1.7
歳入歳出差引額	2, 153	2, 241	2, 853	2, 154	△ 24.5
前年度繰越金	6, 479	2, 153	2, 241	2, 853	27. 3
単年度収支額	△ 4,326	88	612	△ 699	△ 214.2
一般会計繰入額	232, 173	227, 358	238, 200	232, 392	△ 2.4
不納欠損額	10	0	0	0	_
収入未済額	716	459	402	480	19. 4

### イ 審査結果

- ① 令和3年度の歳入歳出差引額は、215万4千円の黒字となったが、前年度からの繰越金があるため、単年度収支は赤字となっている。
- ② 平成20年度から始まった後期高齢者医療事業は、令和3年度には被保険者が2,64 3人となり、前年度より28人の減少となっている。

### ウ 審査意見

被保険者数は減少傾向にある。今後とも高齢者の健康福祉の充実、適切な保健指導事業の ために関係機関が連携して、より濃密で健全な保険事業が行われるよう望む。

### (4) 下水道事業特別会計 ア 決算の概要

(単位:千円.%)

-				( 7 1 2	<u>     ] . /0/</u>
年 度区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年 増減率
歳入総額	916, 158	915, 459	946, 289	942, 991	△ 0.3
歳出総額	902, 446	902, 549	930, 155	930, 780	0.1
歳入歳出差引額	13, 712	12, 910	16, 134	12, 211	△ 24.3
翌年度へ繰り越すべき財源	0	5	91	231	153.8
実 質 収 支 額	13, 712	12, 905	16, 043	11, 980	△ 25.3
前年度繰越金	12, 382	13, 712	12, 910	16, 134	25. 0
単年度収支額	1, 330	△ 807	3, 133	△ 4, 154	△ 232.6
一般会計繰入額	549, 564	545, 262	552, 811	549, 437	△ 0.6
不納 欠 損 額	151	89	19	0	皆減
収入未済額	3, 141	3, 860	4, 150	4, 827	16. 3
基金保有額	67, 057	67, 070	67, 084	67, 097	0.0
起 債 残 高	5, 690, 652	5, 354, 260	5, 016, 673	4, 682, 249	△ 6.7

### イ 審査結果

- ① 令和3年度の歳入歳出差引額は、1,221万1千円の黒字、実質収支も黒字となった が前年度からの繰越金を引いた単年度収支は赤字となった。
- ② 収入未済額が482万7千円となり、前年度より67万7千円(16.3%)増加した。
- ③ 下水道の令和3年度における普及率は、93.1%となり昨年度より0.4ポイント増えて全国的にも高い水準となっている。設備区分構成比は農業集落排水が42.5% 公共下水道が28.3%、合併浄化槽が28.1%、小規模簡易排水が1.1%となっている。

### ウ 審査意見

合併浄化槽の増設工事やその他の施設の維持管理の業務が増える。維持管理については 管理費が高額であることも考え、管理の方法を検証しながら推進されたい。

なお、収入未済額も年々増えている。一層の徴収に努められたい。

### 4 令和3年度財政健全化審査意見書

### (1) 審査の概要

この財政健全化審査は、町長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかを主眼として実施した。

### (2) 審査の結果

### ア 総合意見

審査に付された下記、健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれ も適正に作成されているものと認められる。

記

単位:(%)

	健全化判断比率	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
1	実質赤字比率	_					
	【早期健全化基準】	[ 13.97 ]	[ 14.05 ]	[ 14.09 ]	[ 14.07 ]	【 13.99 】	
2	連結実質赤字比率	_	_	_	_	_	
	【早期健全化基準】	[ 18.97 ]	【 19.05 】	【 19.09 】	【 19.07 】	【 18.99 】	
3	実質公債費比率	14.0	14.5	14.9	15.0	14. 1	
	(単年度)	( 14.0 )	(15.3)	(15.6)	( 14.3 )	(12.4)	
	【早期健全化基準】	[ 25.6 ]	【 25.0 】	【 25.0 】	【 25.0 】	【 25.0 】	
4	将来負担比率	109.0	108.5	96.3	91.6	80. 6	
	【早期健全化基準】	【 350.0 】	【 350.0 】	【 350.0 】	【 350.0 】	【 350.0 】	

### イ 個別意見

① 実質赤字比率について

令和3年度の実質赤字額はなく、本町の早期健全化基準の13.99%に該当する数値はない。

② 連結実質赤字比率について

令和3年度の連結実質赤字額はなく、本町の早期健全化基準の18.99%に該当する数値はない。

### ③ 実質公債費比率について

令和3年度の実質公債費比率(令和元年度~令和3年度の3カ年平均)は14.1%となっており、令和2年度の算定分15.0%(平成30年度~令和2年度の3カ年平均)と比較して0.9ポイント減少している。

単年度の比率は、令和元年度15.6%、令和2年度14.3%、令和3年度12.4%と前年度に比べ1.9ポイント減少している。令和3年度の数値の減少については、分子となる地

方債の元利償還金等が令和2年度に比べ減少(約1億1,600万円減)し、分母となる普通 交付税額の増額により増加したためである。

平成18年度より行っている起債の計画的発行の効果もあり元利償還金は減少してきた。 しかしながら、近年行ってきた防災行政無線更新事業及び新可燃ごみ処理施設整備事業、石 見中学校建設事業、今後計画されている大型の起債事業に係る起債償還の重複時期等による 数値の上昇に注視されたい。

なお、全国の市区町村平均は、5.7%(令和2年度決算:総務省)となっている。

### ④ 将来負担比率について

令和3年度の将来負担比率は、80.6%となっており、令和2年度算定分91.6%と比較して11.0ポイント改善している。これは、普通会計の地方債現在高は増加しているがその他の将来負担額等が減少したため分子が減少し、標準財政規模が普通交付税の追加交付により分母が増加したためである。

将来負担比率は、早期健全化基準の350.0%を下回っているが、全国の市区町村平均2 4.9%(令和2年度決算:総務省)と比較した場合には高い数値となっている。

### ウ 是正改善を要する事項

本年度において、実質公債費比率、将来負担比率ともに改善となった。

いずれも分子対分母の比率で、分子を構成する大きな要素は、実質公債費比率は地方債の元利償還金、将来負担比率は地方債現在高であり、その増減は長期にわたっての財政運営の結果である。

今後、起債償還が始まる防災行政無線更新事業及び新可燃ごみ処理施設整備事業負担金、公立邑 智病院本館建設事業負担金、石見中学校建設事業、また計画されている起債事業に係る起債の償還 や地方債残高等の推移に注視しながら、将来世代への負担を考慮するなど引き続き適切な起債発行 に努められたい。

また、分母となる標準財政規模については、令和3年度において臨時的な追加交付等による増額があったものの令和4年度以降は減額になる見込みである。適切な財政計画の立案及び財政推計に沿った財政運営が必要であると考える。

### 5 令和3年度下水道事業特別会計経営健全化審査意見書

### (1) 審査の概要

この経営健全化審査は、町長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

### (2) 審査の結果

### ア総合意見

審査に付された下記、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも 適正に作成されているものと認められる。

記

比率名	令和3年度(%)	経営健全化基準(%)	備考
資金不足比率	_	20.0	

### イ 個別意見

① 資金不足比率について

下水道事業特別会計の令和3年度決算においては、「繰上充用額」、「支払繰延額」及び「建設 改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高」いずれもなく、資金不 足額はない。

したがって、経営健全化基準の20.0%に該当する数値はない。

### ウ 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

### 6 令和3年度水道事業会計経営健全化審査意見書

### (1) 審査の概要

この経営健全化審査は、町長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

### (2) 審査の結果

### ア総合意見

審査に付された下記、資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも 適正に作成されているものと認められる。

記

比率名	令和3年度(%)	経営健全化基準(%)	備考
資金不足比率	_	20.0	

### イ 個別意見

① 資金不足比率について

水道事業会計の令和3年度決算においては、「繰上充用額」、「支払繰延額」及び「建設改良費等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高」のいずれもなく、資金不足額はない。

したがって、経営健全化基準の20.0%に該当する数値はない。

### ウ 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

### 7 基金運用状況審査意見書(地方自治法第241条第5項)

### (1)審査の対象

令和3年度定額運用基金

- ① 高額療養費貸付基金
- ② 文化、芸術振興基金
- ③ 奨学基金
- ④ 医療福祉従事者確保奨学基金
- ⑤ 農林業後継者育成奨学基金
- ⑥ フィンランド共和国交流派遣貸付基金

### (2)審査の内容及び意見

### ① 高額療養費貸付基金

2年度につづき、3年度中も貸付利用はなかった。

年度末現在高は600万円となっている。

利用が無い背景には、基金設置時以降に高額療養制度改正が進んだことも考えられる。

### ② 文化、芸術振興基金

2年度につづき、3年度中も貸付利用はなかった。

年度末現在高は50万円となっている。

長期間利用のない年度が続いている。

### ③ 奨学基金

3年度中に新規2名に対して78万円の貸付が行われ、償還は10名から168万円があり、償還免除が2名で204万円あった。

貸付総額は1,073万1千円となっている。

年度末現在高は6,592万2千円となっている。

### ④ 医療福祉従事者確保奨学基金

3年度中に新規9名、継続26名に対し3,120万円の貸付が行われ、償還は18名から678万2千円があり、償還免除が4名で1,128万円あった。

貸付総額は2億2,146万円8千円となっている。

年度末現在高は2億3,000万円となっている。

### ⑤ 農林業後継者育成奨学基金

3年度中に継続2名に対し192万円の貸付が行われ、償還は4名から121万円あった。

貸付総額は1,403万円となっている。

年度末現在高は1,800万円となっている。

### ⑥ フィンランド共和国交流派遣貸付基金

3年度中の貸付は無く、償還は2名から9万8千円あり、貸付総額は8万3千円となっている。

年度末現在高は1,000万円となっている。

### 8 決算審査のまとめ

令和3年度は、予算編成のテーマに「誰ひとり取り残さない、人とつながり支え合う町づくり」を掲げ、様々な事業が実施された。地区別戦略発展事業は、町民の参画を広げながら各地区の特色を持った事業として動き出し、日本一の子育て村構想では、子どもに向き合い成長と学びの機会を保障する取り組み、また、活力と魅力あふれる産業をつくる支援事業等幅広く展開された。しかし、前年から続く新型コロナウイルス感染症が収まらず、様々な制約のある中で事業を進めなければならない年であった。

このような中にあって、普通会計の決算状況は、前年多額であった新型コロナウイルス感染症対応経費がおおよそ半減したことで、歳入、歳出の決算規模は縮小した。各会計における実質収支はいずれも黒字となっている。決算指標において、経常収支比率が前年度に比べ3.0 ポイント減少、地方債現在高比率が3.9ポイント減少、積立金現在高比率は2.2ポイント増加といずれの指標も改善した。また、健全化判断比率の実質公債費比率(単年度)が1.9ポイント、将来負担比率も11.0ポイント減少して改善したが、これらの指標はいずれも分母の標準財政規模が普通交付税の追加交付により増加したことが大きいためで、これは令和3年度のみの一時的な特徴でもある。

いずれにしても依存財源が8割を占める中で、厳しい財政事情は避けられない。町が持続的発展をしていくためには、真に必要な事業の選択をしながら町民のニーズに応えていく財政運営は当然であるが、道の駅瑞穂整備事業や石見中学校、邑智病院の改築等の大型建設事業が続いている。また、このほかの望まれる大きなハード事業も考えられる。従ってこうした必要経費を現世代と将来世代とどう負担、分担していくか、分担が適切か否か等を注視しての財政運営が望まれる。

付 表

### 令和3年度 収入未済額調書

						平成3	80年度		元年度		2 年度		3年度		<u>単位:円)</u> 差引増減										
	区			5	}	金	額	金	額	金	額	金	額	金	額										
	町		税			36,	,537,180	35	,788,740	40	,985,045	23	,544,095	Δ 1	7,440,950										
	町 民 税 固定資産税				6	, 816, 284	5	, 225, 988	4	, 347, 182	2	, 950, 573	Δ	1, 396, 609											
					27	, 891, 831	28	3, 853, 173	34	, 938, 432	18	, 818, 304	Δ 1	6, 120, 128											
		軽負			車税	1	, 829, 065	1	, 709, 579	1	, 699, 431	1	, 775, 218		75, 787										
	分	担	金				937,832		866,902		849,064	1	,301,770		452,706										
				農林水産 分担金	È		937, 832		866, 902		849, 064	1	, 301, 770		452, 706										
				災害復日 分担金			0		0		0		0		(										
	負	担	金				536,420		339,210		253,810		229,810		△ 24,000										
般				民生費負	担金		536, 420		339, 210		253, 810		229, 810		△ 24,000										
会計				教育費負	担金		0		0		0		0		(										
	使	用	料				692,741		374,500		452,800		340,020	Δ	112,780										
				土木使	用料		692, 741		286, 200		408, 680		306, 900	Δ	101, 780										
				教育使	用料		0		88, 300		44, 120		33, 120		△ 11,000										
	財産	を 収り かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう しゅうしゅう しゅうしゃ しゃ し	(	財産貸付	収入		0		598,352	1	,180,000		298	Δ	1,179,702										
	諸	収	入			7.	,623,496	22	,417,563	18	,830,467	18	,368,299	Δ	462,168										
				貸付金	元 利		7,623,496		7,150,252		6,691,008		6,302,764		△ 388,244										
				雑	入		0	1	5,267,311	1	2,139,459	1	2,065,535		△ 73,924										
				計		46	,327,669	60	,385,267	62	,551,186	43	,784,292	Δ 1	8,766,894										
	国民健康保験 保		23,	,335,580	25	,516,957	25	,323,837	25	,977,528		653,691													
	後期	後期高齢者医療			716,143		458,530		402,490		479,970		77,480												
				保 険	料		684, 043		458, 530		402, 490		479, 970		77, 480										
				雑	入		32, 100		0		0		0		(										
	下	水	道	道		3,	,140,784	3	,859,655	4	,149,977	4	,827,200		677,223										
特				分 担	金		590,000		590, 000		590, 000		590,000		(										
別				使 用	料	2	, 550, 784	3	, 269, 645	3	, 559, 977	4	, 237, 200		677, 223										
会 計				雑	入		0		10		0		0		(										
	電気	通信	1			1,	,244,475	1	,034,109		932,967	1	,184,842		251,875										
				負 担	金		20,000		105, 000		20,000		20,000		(										
				使 用	料	1	, 201, 904		908, 557		894, 510	1	, 146, 385		251, 875										
				手 数	料		6, 171	~~~~~	4, 152		2, 057		2, 057		(										
				財産収入		財産収入		財産収入		財産収入		財産収入		財産収入			16, 400		16, 400		16, 400		16, 400		(
		計		計 28,436,982 3		30	30,869,251		30,809,271		1 32,469,540		1,660,269												
合					計	74	,764,651	91	,254,518	93	,360,457	76	,253,832	Δ 1	7,106,625										
不	納	:	欠	損 処	分		950,141	1	,291,053		407,891	11	,691,964	1	1,284,073										

### 地方債の状況 令和3年度

₩

丰

13,295,012 171,981 R3年度末 現 在 高 199,156 13,466,993 4,682,249 (単位:千円) (R4.3.31) 59,848 244 1,493,977 1,553,825 492,324 額 齠 減 囻 蟶 迴 麼 9,900 1,756,403 0 157,900 1,766,303 齠 件 个 搏 胀 狱 13,032,586 221,929 13,254,515 199,400 5,016,673 実 高 (R3.3.31) 12,696,636 267,171 199,400 5,354,260 12,963,807 単 半 (R2.3.31) 12,734,913 449,980 13,184,893 178,100 5,690,652 末 高 (H31.3.31) H30 年 度 現在 13,137,750 624,705 2,200 H29 年度末 現 在 高 13,762,455 6,023,302 (H30.3.31) 绐 国民健康保険直営診療所事業特 別 会 計 盂 盂 業 計 盂 44 《河通后事》 "别 你 言 ₩ 洒 44 霰 华 盂 쌔 軍特 I 빠 熳 凞

(資料:地方財政状況調查)

18,348,398

2,046,393

1,924,203

18,470,588

18,517,467

19,053,645

19,787,957

盂

**4**□

# 債務負担行為額の状況 令和3年度

18,146 末 高 (単位:千円) R3年度3現 在 雇 (R4.3.31) 3,589 額 ₩ 恕 鬞 膕 霏 靊 # 0 麼 担額 枡 務負 狐 輝 憤 行 水 実 高 R2年度3現 在 7 (R3.3.31) 25,325 単 半 R 1 年度月 現 在 雇 (R2.3.31) 33,235 H30 年度末 現 在 高 (H31.3.31) 38,986 H29 年 度 末 現 在 高 (H30.3.31) 盂 佑 414 盂 熈 ⋪ 耞

(資料:地方財政状況調查)

长

## 基金積立金の状況 令和3年度

# (定額運用基金を除く) (出納閉鎖後)

(単位:千円)	座	在高	502, 925	2, 089, 686	126, 529	891, 655	1, 564, 880	75, 675	110, 454	30, 459	36, 638	97, 686	275, 237	450, 912
(単位	R 3 4	現布	2	2, 0	I	8	1,5	5, 17	1				12	5, 45
	中増減額	取崩額	0	239, 416	40, 900	259, 860	0	540, 176	1,910	0	0	7,741	9, 651	549, 827
	決算年度	積立額	107, 075	503, 657	32, 557	222, 707	0	865, 996	11, 409	9	8	21,024	32, 447	898, 443
X XX CELEVILLE	R2年度末	現在高	395, 850	1, 825, 445	134, 872	928, 808	1, 564, 880	4, 849, 855	100,955	30, 453	36, 630	84, 403	252, 441	5, 102, 296
	R 1年度末	現在高	273,741	1, 979, 200	134,845	901, 342	1, 564, 880	4, 854, 008	76, 704	30, 447	36, 623	85, 415	229, 189	5, 083, 197
	0年度	現在高	488, 789	1, 886, 543	134, 818	633, 415	1, 564, 880	4, 708, 445	77, 973	30, 441	36,616	100, 247	245, 277	4, 953, 722
	9年度	現在高	491,032	1, 964, 608	134, 764	594, 435	1, 564, 880	4, 749, 719	48, 113	30, 431	36,601	115, 194	230, 339	4, 980, 058
	¥		整基金	基金	推進基金	目的基金	興 基 金	計 (A)	除事業基金	理事業基金	業基金	事業基金	計(B)	(A+B)
	<b>少</b> 		政調	債	ちづくり	の他特定	域 振	k 슈타	健康保	排水処	水道事	気通信	숏타	抽
			阻	鬞	446	4	和	— 般	囲	生活	1	#	特別	<b>₫</b> □